

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

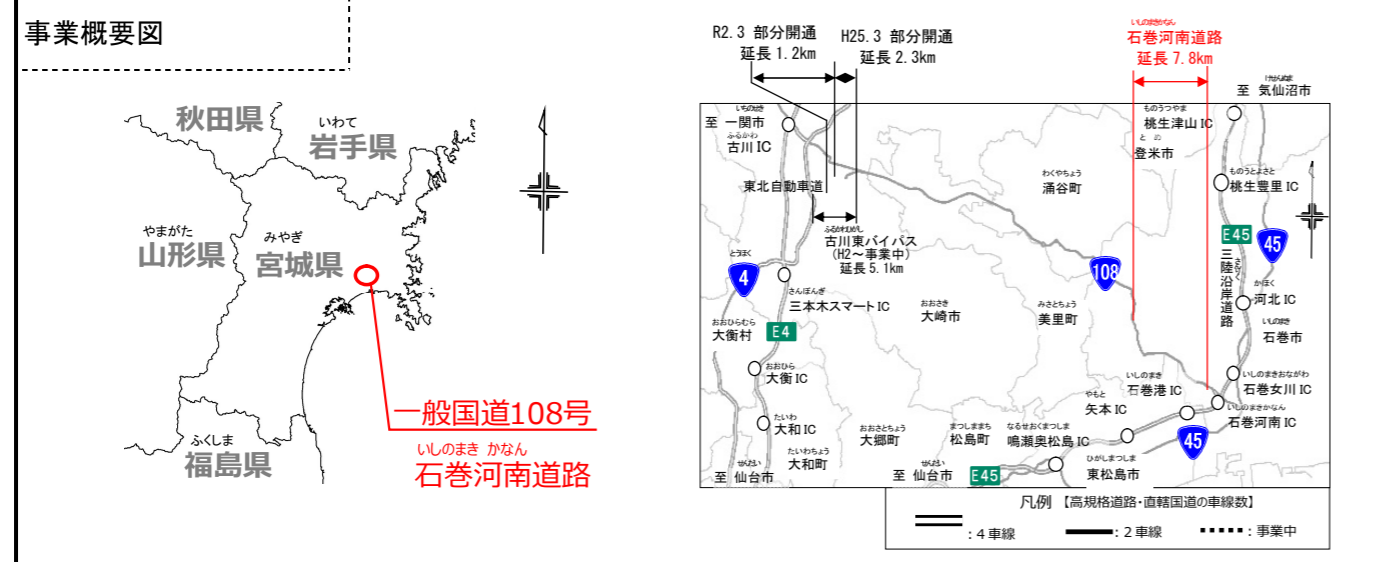
事業の概要

事業名	一般国道108号 石巻河南道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県石巻市蛇田 至：宮城県石巻市北村	延長	7.8km		

事業概要
一般国道108号は、宮城県石巻市を起点に宮城県・秋田県を横断し秋田県由利本荘市へ至る主要幹線道路である。一般国道108号石巻河南道路は、石巻市西部における交通円滑性や交通安全の確保を目的とした延長7.8kmの道路事業である。

事業の目的、必要性
当該事業の整備により、旅行速度の低下を解消し道路交通の円滑性を確保。さらに、内陸部から石巻方面への速達性の確保による救急搬送の支援や、急カーブや狭小幅員等の道路の課題箇所を解消し、輸送を安定的に支えることにより、地域産業の支援を行うものである。

全体事業費：約210億円 計画交通量：約10,900台/日



関係する地方公共団体等の意見
【宮城県知事】
予算化することについて同意します。
石巻河南道路については、震災以降に工業団地や市街地が沿岸部から内陸部へ移転したため、沿線地域の人口・従業者数が増加し、交通需要は震災前の約3割増となりました。さらに、当該区間は幅員狭小区間が半数を占め、大型車の走行困難な急カーブが多数存在し、交通渋滞や交通事故の多発が課題となっております。
産業支援として国際拠点港湾仙台塩釜港石巻港区からの安定輸送や物流効率化に向けたネットワーク強化や、交流人口拡大のためにも石巻河南道路は不可欠な道路です。
つきましては、「石巻河南道路」の令和3年度新規事業としての予算化に特段の御配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R2.7.1）、都市計画変更手続き完了（R3.2.12）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.1	総費用：170億円 （事業費：153億円 維持管理費：17億円）	総便益：192億円 （走行時間短縮便益：159億円 走行経費減少便益：28億円 交通事故減少便益：5.1億円）	基準年：令和2年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.02（交通量-10%）	B/C=1.2（交通量+10%）	
		事業費変動	B/C=1.03（事業費+10%）	B/C=1.2（事業費-10%）	
		事業期間変動	B/C=1.03（事業期間+20%）	B/C=1.2（事業期間-20%）	

事業の影響		評価項目	評価	根拠
自動車や歩行者への影響	渋滞対策		◎	・幅員狭小を解消させ、道路交通の円滑性確保。 【狭小幅員区間（幅員<8mの区間）】 現況：5.4km ⇒ 整備後：0km 【石巻市河南総合支所から石巻市役所への所要時間】 現況：29分 ⇒ 整備後：24分（約5分短縮）
	事故対策		○	・幅員狭小区間・急カーブなどの線形不良箇所が解消され、安全な走行性を確保。 【事故危険区間】現況：2箇所 ⇒ 整備後：0箇所
	歩行空間		○	・現道拡幅区間は歩道が整備され、またバイパス区間は生活道路や通学路として利用されている現道において、通過交通が石巻河南道路に転換することにより、沿線住民や通学児童の安全・安心を確保。
社会全体への影響	住民生活		◎	・内陸部から石巻方面への速達性を確保し、救急搬送を支援。 【涌谷町役場から石巻赤十字病院への所要時間】 現況：33分 ⇒ 整備後：28分（約5分短縮）
	地域経済		◎	・急カーブなどを解消し、物流ネットワークの効率化が期待。 【急カーブ（R<150m）の解消】現況：14箇所 ⇒ 整備後：0箇所
	災害		○	・バイパス整備と現道機能強化により、内陸との輸送確実性を確保。
	環境		—	・注目すべき影響はない。
	地域社会		○	・石巻市街地と内陸方向の経路が強化され、広域観光促進が期待。

事業実施環境
○ 都市計画変更手続き完了（R3.2.12）
宮城県知事、石巻市長、石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会等により、石巻河南道路の早期事業化を要望。

採択の理由

費用便益比が1.1と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価及び都市計画変更手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、道路交通の円滑性確保、救急搬送の支援、地域産業の支援等、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。